

令和 8 年度 避難所運営委員会と行政との意見交換会

日時：令和8年7月11日（土） 午後3時～午後5時20分

場所：増尾近隣センター 会議室A

出席者：増尾西小学校避難所 6名（松野台自治会 塚本・大塚・金原、増尾町会 川嶋、木戸前町会 國分、加賀町会 石原）

柏南高校避難所 3名（新柏二丁目第一自治会 栗原、新柏三丁目自治会、第一住宅増尾団地自治会）

中原中・小学校避難所 5名（つくしヶ丘町会 藤野、新柏二丁目第二自治会 石井、サンパセオ新柏管理組合 荒木、加賀町会 吉田・中井）

土小学校避難所 2名（増尾町会 平川、増尾日立自治会 高橋）

土中学校避難所 2名（東武なかはら団地自治会 廣末・白田）

柏市 4名（危機管理部防災安全課 高森・古田、地域コミュニティ課 江幡・賀数、近隣センター所長 松井）

増尾地域ふるさと協議会5名（青柳・志水・若狭・北本・山下）

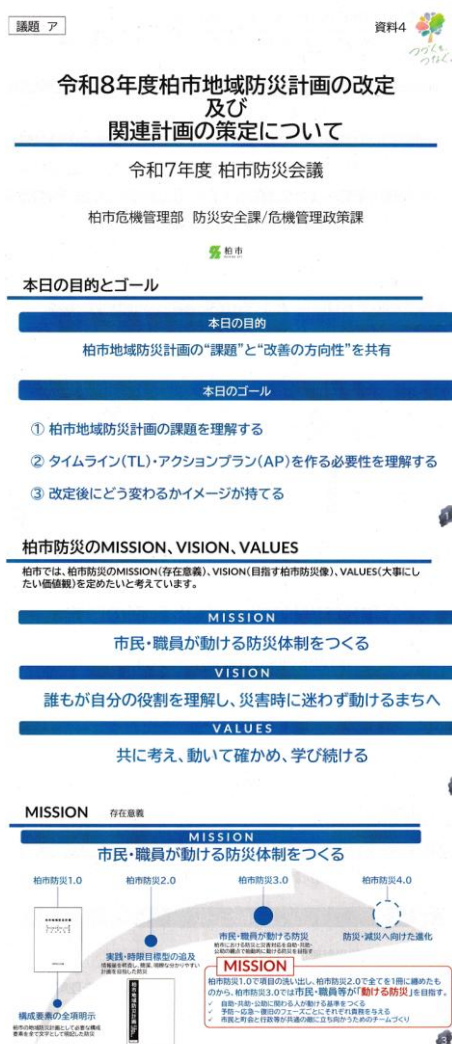
(ふるさと協議会)

令和8年度の避難所運営委員と行政との打ち合わせということで、避難所の円滑な運営に役立てていただきたいと思います。よろしくお願いたします。柏市が地域防災計画の見直しを行っており、新たな考え方に基いた資料作りを行っているということで、市の防災安全課から説明をお願いしたいと思います。

【柏市地域防災計画の見直しについて】

●防災安全課配布資料…<https://www.masuofurusato.com/bouhan/bunsyo/260711-2.pdf>

(柏市防災安全課)



今回の地域防災計画の改定につきましては、柏市が現在抱えている課題をどのように解決していこうとしているのかをご説明させていただきたいと思えます。

現行の防災計画については、分厚い冊子になっているため、市民や職員の行動指針がわかりにくく、実際の災害時に対応が後手後手になってしまう懸念があるため、見直しをおこなうことになりました。

改定大きな目的として、「柏市の市民・職員が動ける防災体制をつくる」ということがございます。現状の防災計画では、誰もが自分の役割を理解するということが難しい形になっていますので、災害時に自分の役割を理解し、迷わずに動けるまちへということを目指しています。

こちらが、今までの柏市の地域防災計画の変遷についてのイメージ図になります。災害時の対応を網羅的に整理したのが1.0で、現状の2.0では分厚い防災計画にまとめたものですが、読んだ方がどのように動くのかという視点が欠けており、読むだけになっているという危惧があります。今回の改定で、市民と職員の動き方を明確にし、迷わず実際の防災計画にシフトしたいと考えています。こちらの防災計画では、実際の災害訓練などを通じて継続的に更新できるような仕組みづくりを目指しています。

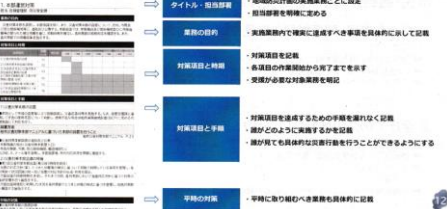
全市タイムラインの策定イメージ②

台風時における自宅保全の事例について、全市タイムライン策定のイメージを示します。



職員アクションプランの策定イメージ

職員アクションプラン策定のイメージを示します。



計画改定を進める上での体制・仕掛け

市民・職員が『動ける防災体制づくり』を進めるため、

① 様々な市民、関係機関の意見を聴く機会を広く確保

- 【対応の一環】
 - ▶ 防災士資格取得助成制度により資格取得者へのヒアリング
 - ▶ 「女性目線の防災対策」を進める一助とするため、関係者・団体へのヒアリング
 - ▶ ふるさと協議会や地元の防災講習会等で自助・共助を担う組織へのヒアリング
 - ※その他に広報かしわでの掲載、パブリックコメントでの意見聴取

② 全市での防災体制プロジェクトを立ち上げる

- 【対応の一環】
 - ▶ 防災対策ワーキング会設置、意見交換
 - ▶ 被災地支援経験者 座談会での意見聴取
 - ▶ 女性職員へのヒアリング
 - ▶ 危機管理プロジェクトチームに有志の職員を招集

柏市防災体制構築へ向けたロードマップ



まとめ

地域防災計画は「計画のための計画」から、「実行」性あるものへ作り替え、動ける防災へ。

▶ 計画の課題を理解することで、改善点を明確にする。

災害時に実際に起こり得る混乱を具体的に想像し、改善すべき点を明確にしました。

▶ 「動ける防災」に変えることで、計画に「実行できる力」が生まれる。

計画の実行性を高めるために、3点(改定・策定)が必要です。

▶ 改定後は、市民・職員・関係機関等の役割が明確になる。

新しい計画では、「役割が明確」「行動が具体」「時系列の流れが見える」という形になり、これまで曖昧だった判断基準が明確になり、実際に動ける防災として整理されます。

こちらは時間の関係で割愛させていただきますが、具体的な作成方法を示した内容です。興味のある方はお読みください。

このアクションプランは職員の指針になっており、各部署ごとにどのように動くのかを記載するために、連携をとりながら作成しています。

現状では、地域防災計画が「計画のための計画」のような状態になっていますので、今後「動ける防災」へと変更するための方針を示した内容になっています。ヒアリングや、広報かしわを通じた意見聴取を通じて、市民の皆さんと協力しながら改定を行いたいと思っています。

こちらでは、令和7年度から8年度にかけて、どのように防災計画を変更していくのかを明記したものです。2026年1月29日から始まり、現時点は市内などの意見を集約してアクションプランを策定している段階です。今後、市民の方の意見を聴取して、防災会議で最終的な確認を行い、令和8年度末に完成させるために動いていることになります。

まとめとして、現在の防災計画の改善点を明確にし、計画だけにとどまらず動ける防災に変更することで、計画の実行力が生まれるようにしたいと考えています。最後に、改定後は、市民・職員・関係機関等の役割を明確化して、実際に時系列で把握できるような防災計画に変更したいと考えております。

(ふるさと協議会)

ありがとうございます。防災安全課から地域防災計画改定についての今後の展開について説明をいただきました。現状は大変分厚い冊子のため、「計画のための計画」になっているのかもしれませんが、避難所運営委員会よりも町自治会で把握しておくべき事柄かもしれませんが、何かご質問はございますか・

(避難所運営委員)

「避難所」と「避難場所」の使い方を明確にしたほうが良いと思いますが、いかがでしょうか。

(ふるさと協議会)

「避難所」は体育館など、災害時に避難して生活をする場所であり、「避難場所」は校庭など、災害が起こった際に一時的に非難する場所であり、生活することは想定していません。各避難所の倉庫には初期段階の食料として200食程度は備蓄されています。

● 柏市の避難所と避難場所 : https://www.city.kashiwa.lg.jp/bosaianzen/anshinanzen/disaster/disaster_ready/hinanbasho/ichiran.html

(避難所運営委員)

こういう場では、実際に避難所に逃げていくことを想定した、具体的なオペレーションの説明をしていただいたほうが良いと思うのですが。

(柏市防災安全課)

「広域避難場所」では宿泊いただくことは考えておらず、一時的に危険から身を守るためお場所になっています。「避難所」に関しては、ある程度生活ができる場所を想定しています。物資については限られた量しか備蓄しておりませんが、災害時には、市役所から各避難所に職員3名ずつが行くことに決まっており、物資が足りなくなった時には派遣された職員が地区災害対策本部などに物資の申請を行って、足りない物資を供給することになっています。避難所の備蓄品は自宅と比べてどうしても不足してしまいますので、現時点では、できるだけ在宅避難の呼びかけを行っております。

(避難所運営委員)

改定計画をお聞きして、ずいぶん前向きな姿勢に変わってきたという印象はございますが、各避難所に3名の職員が派遣されるということになっており、具体的に誰がどこに行くということも決まっている理解でよろしいですね。

(防災安全課)

はい。決まっております。

(避難所運営委員)	避難所から災害本部などに連絡するのは、市から派遣されている3名の方が行うということでよろしいでしょうか。
(防災安全課)	連絡体制に関しましては、各避難所に災害用ＩＰ電話が設置されており、連絡に関しては市の職員が行うようになっています。
(避難所運営委員)	我々が避難訓練を行うときに、何の物資が足りないとか何名怪我しているとかをチェックして市に報告する作業を想定していますが、そのような作業は市から派遣される方にやっていただけるという理解でよろしいですか。
(防災安全課)	足りない物資がある場合は用紙に記入して、その用紙を柏市の職員が受け取ってまとめるというようなことを想定しています。
(避難所運営委員)	各避難所に派遣される市職員の皆さんの取りまとめは近隣センター所長になるのでしょうか。
(近隣センター所長)	増尾近隣センターが地域の災害対策本部になりますが、柏市から各避難所に3名が配置されることは既に決まっています。7月1日に、配置される市の職員を含めて地区災害対策本部の会議を行い、マニュアルの周知や訓練を行いました。職員は、震度5強以上で各自の判断で避難所に行くということになっており、その後、皆さんと共に建物の状況を確認して避難所を開設します。開設にあたっては、3名の職員と避難所運営委員が協力して対応することになります。足りない物資についてはＩＰ電話を利用して市に報告することになっています。ただし、担当職員はなるべく近くに住む方を選任してもらっていますが、地域の皆さんよりも遅れて参集する可能性もあるということをご理解いただきたいと思います。
(避難所運営委員)	3名の方の職務分担は具体的に明示されているのでしょうか。
(防災安全課)	市から避難所に派遣される職員には、備蓄倉庫に入っている「避難所運営ガイド」に基づいて避難所を開設するように指導しています。運営ガイドには、受付の設置方法や報告内容と報告先などが記載されています。避難所の状況報告については、システムが稼働していればシステムを使って報告をすることになっていますが、市民の皆さんにシステムを使っていただくことは想定していませんので、状況報告は派遣された市の職員が行うことになります。
(避難所運営委員)	避難所での役割というのは我々も認識しています。確認したかったことは、派遣される市の職員の皆さんが、自分たちの役割を認識されているのかということをですが、いかがでしょうか。
(防災安全課)	増尾地区では7月1日に職員対象の避難訓練を実施しており、各職員にはマニュアルに基づいた役割の説明を行っていますので、情報共有はできているかと思います。
(避難所運営委員)	そのような訓練を行った場合、訓練内容を避難所運営委員会にも開示していただいておかないと、職員の方との役割分担が明確になりませんので、よろしく願いいたします。
(防災安全課)	今後は共有させていただくようにいたします。
(避難所運営委員)	各避難所で避難訓練を行う際には、3名の市職員に方も参加いただくことを励行していただきたいと思います。我々としては、訓練の際に市職員の方から指導を受けたいとも考えているのですが、実際には避難訓練に参加いただけないこともございますし、市の職員も毎年交代することになるのでしょうから難しいとは思いますが、せっかく3名の市の職員を避難所に派遣するというスキームを作っていただいたので、より効果的な運用をご検討ください。
(ふるさと協議会)	後ほど、各避難所の避難訓練の予定が発表になると思いますが、訓練に市から派遣される職員の皆さんの参加をご検討いただくと共に、避難所運営委員会の会議に年に1回でもご参加いただくことで、役割分担等のすり合わせを行っていただきたいと思います。
(避難所運営委員)	震度5強以上になると避難所を開設する際、市の職員と避難所運営委員のどちらが先に来るかはわかりませんが、まずは避難所の建物の状況を把握することになります。開設の判断基準となるマニュアルはどうなっていますか。
(ふるさと協議会)	チェックシートができあがっており、避難所の倉庫に入っているはずですので、ご確認ください。
●はじめにやることカード… https://www.city.kashiwa.lg.jp/documents/95/1-1-1.pdf	
(避難所運営委員)	都内では、避難場所に一時的に逃げ込んで、その後、地震や火事が収まって自宅に帰れない方は避難所に移動することになっています。いきなり避難所に来るとあふれてしまうことになると思うのですが、どうなっていますか。
(避難所運営委員)	それについては、地震が起きた時の行動基準のベースとして、各自治会を通じて市民の皆さんに啓蒙しているはずで、地震が起きた時には、まず小中学校のグラウンドや公園のように建物が倒壊する危険のない広場に逃げ込むというのが基本的な行動になっています。その後、地震が収まって自宅に帰った時に住めない状況になっていけば、避難所に移動することになります。ただし、最初から避難所に逃げてくる方は必ずいるということを前提に考えておく必要はあるかとは思いますが。
(ふるさと協議会)	災害時の行動について住民に啓蒙する活動は、市に任せておくのではなく、町自治会での対応が基本になります。
(避難所運営委員)	市としても、災害時の市民の初動対応については、もっと積極的に啓蒙活動を行っていただきたいと思います。
(避難所運営委員)	風水害の場合は被害状況を想定した対応策は比較的容易に決めておけると思いますが、地震については、総論的な対策はできたとしても、個別行動のガイドラインを事前に決めておくのは難しいだろうなとは思いますが。
(防災安全課)	確かに、台風と比較して地震の場合は事前想定が難しい面もあるのですが、そのようなことも踏まえた上で、防災計画の改定を行っているところです。今後、パブリックコメントなども実施する予定ですので、皆さんからいただいたご意見を改定に反映させたいと考えていますので、よろしくお願いいたします。

【柏市が令和8年度に実施予定の防災強化の施策】

●防災安全課配布資料…<https://www.masuofurusato.com/bouhan/bunsyo/260711-3.pdf>

(柏市防災安全課)

令和8年度の事業予定について説明させていただきます。

令和8年度事業予定について

柏市危機管理部 防災安全課

① 生活用水の整備(衛生環境の向上)

災害時の生活用水の確保や水源を必要とするマンホールトイレ等の利用を想定し、令和9年度までに全市立小・中・高校に手押し井戸の設置を行う。

設置イメージ	概要
	○令和7年度まで 45箇所設置済 - 市立小・中等学校 41箇所、その他 4箇所 ○令和8年度設置予定箇所 12箇所 - 北部地域4校、中央地域4校、南部地域4校 ○令和9年度設置予定 11箇所

始めに、生活用水の整備についてご説明させていただきます。

災害時の生活用水の確保を目的として、手押し式井戸の整備をおこなっています。令和7年度までに市内45箇所の設置を終えており、今年度、新たに12箇所の小中学校に新設をする予定になっています。また、令和9年度までに11箇所の小中学校に新設をして、市内全ての小中学校及び市立高校、計64校への設置が完了する予定になっています。

② 備蓄物資の整備(食糧、女性目線物資等)

令和7年度から令和11年度までの5箇年における備蓄購入計画に沿い、新規配備と同時に賞味期限のある備蓄物資の入れ替えを実施予定。食糧だけでなく、女性目線の課題に対応した備蓄物資(生理用品、母乳パッドなど)についても計画的に新規購入及び入れ替えを実施。



備蓄物資の整備について説明いたします。令和5年度に実施の物資の防災アセスメント調査結果を元に、令和7年度から11年度の5年間の備蓄計画を策定しています。今後については、この計画に沿った備蓄物資の整備を行って行く予定です。計画に沿った新規配備に加えて、賞味期限があるおかゆやバンの備蓄食料や子育て世代や女性目線の課題に対応した備蓄物資も計画して配備していく予定です。

③ 防災備蓄倉庫のあり方検討

防災備蓄品の正確な管理とスムーズな避難者への提供を行うため、防災備蓄倉庫のあり方を検討する

01 既存倉庫の現状整理と把握	02 既存倉庫のあり方検討	03 倉庫のマスタープラン	04 倉庫の立地適正化
- 倉庫の現状把握 - 備蓄品精査 - 整理整頓	- 既存倉庫 役割整理 - 倉庫のあり方を検討	想定避難者数の3日分 備蓄を基本とした各避難所備蓄計画の策定	実行性ある倉庫の配置に併せ備蓄体制の整理

防災備蓄倉庫のあり方検討についてご説明いたします。災害時に円滑に避難所等に物資を提供するために、防災備蓄倉庫を増やすことなく、どう整備し、どう使うかを見直すものになっています。まず01の現状整備について、市内の備蓄倉庫の備蓄品の内容や数量に基づき整理と把握を進めています。次に02の既存倉庫のあり方の検討では、全ての倉庫が同じ役割を担うのではなく、避難所に直結する備蓄や補完の備蓄、輸送を支える拠点としての役割など、倉庫ごとの機能を整備しています。その上で03では、想定避難者数の3日分を基本とした各避難所の備蓄計画を策定し、それを前提に市全体としてどのような備蓄配置が良いかを策定します。最後に04では01から03で整備した内容を踏まえて、実効性のある倉庫配置と備蓄体制に段階的に移行していきます。

④ 電源車の整備

災害時に停電した場合においても、災害対策本部や災害現場、避難所など電力が必要な場所へ、素早く確実に電源を届ける為、電源車を導入。令和8年度中にトラックタイプの電源車を1台配備予定。

仕様	燃料 : 軽油 燃料量 : 100L 稼働時間 : 15時間 ※ 発電量 : 200kw程度 ※燃料は補充することで稼働時間は伸びます。
平時利用	防災訓練や市の各種イベントに派遣



一度に整備するのではなく、計画に基づき無理のない形で進める考えになります。この一連の流れによって、災害時に避難者自らの力によって物資を取得できる備蓄体制を構築していきたいと考えています。

続いて電源車の整備についてご説明します。災害時に停電した場合につき、災害対策本部や災害現場、避難所などへ素早く確実に電源を届けるために、トラックタイプの電源車を1台導入する予定です。柏市が被災し、電力の供給が遮断された際に使用するほか電気自動車への充電や、平時は市内の各種イベントに派遣する等を想定しています。

⑤ スターリンク新規配備(ウェルネス柏・沼南庁舎)

令和7年度に本庁舎・分庁舎1・上下水道局・消防局に設置を完了させ、通信手段の確保を図った。
令和8年度は医療関係の部署が入るウェルネス柏と教育関係の部署が入る沼南庁舎に新規設置する。

上下水道局設置写真

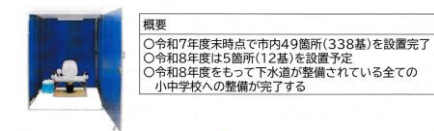


スターリンクの新規配備についてご説明します。災害時における連絡手段の多重化や安定化を図る観点から、スターリンクの配備を令和7年度に主要4施設に完了いたしました。実際の使用を通じて、パソコン及びスマホにて通信の安定性や通信速度の有用性が確認できました。本年度は災害対策本部の代替施設であります、ウェルネス柏と沼南庁舎に新設設置する予定です。各庁舎への設置が完了することによって、庁舎が分散している現在の状況下でも、災害情報システムやオンライン会議のためにインターネット回線が確実に使用できるようになり、初動対応が迅速にできるようになると考えております。

⑥ マンホールトイレの整備(担当課:下水道工務課)

避難所の衛生環境の向上のために、下水道が整備されている小中学校にマンホールトイレを引き続き整備する。令和8年度で整備が完了する。

マンホールトイレ



続いてマンホールトイレの整備についてご説明します。避難所の衛生環境問題解決のため、下水道が整備されている小中学校にマンホールトイレを計画的に整備しているところです。令和8年度につきましては、新たに5箇所12基の設置を行います。この令和8年度をもちまして、下水道が整備されている全ての小中学校への整備が完了することとなります。

⑦ 令和8年度総合防災訓練

多くの市民の「防災」への意識向上や、市と防災関係機関及び協定企業との連携強化による防災対応力の向上を図るため、令和8年度の総合防災訓練を実施予定。

概要	直近3年間の訓練内容
○実施日時 令和8年秋頃を予定 ○実施場所 検討中 ○訓練内容(案) 防災意識向上を目的とした市民参加型訓練	- 令和5年度「テーマ別訓練(対応訓練)」 テーマ:地震 - 令和6年度「市民参加型訓練」 実施訓練:シェイクアウト訓練 - 令和7年度「帰宅困難者訓練」 実施訓練:シェイクアウト訓練



令和8年度総合防災訓練の説明をさせていただきます。直近3年間にしましては、地震をテーマとした図上訓練や市民参加型のとの実動訓練、帰宅困難者対策をテーマとした実動訓練を実施しました。令和8年度につきましては、市民の防災意識が向上するような市民参加型の訓練を行いつつ、防災関連機関及び協定企業との連携強化を目的として行うことを予定しております。

以上で、令和8年度の事業予定を終わりにいたします。

(ふるさと協議会)

マンホールトイレについては、令和8年度で整備が完了するとのことですが、増尾の管内でもすべて終わるのでしょうか。

(防災安全課)

令和8年度で、下水道が通っている小中学校に関しては整備が終わる形になります。

(ふるさと協議会)

手押し井戸で、高校に関しては市立高校は整備するとのことですが、県立高校は対応しないということで、柏南高校は対象外ということですね。

(避難所運営委員)

同じ地域の高校なのですから、市立とか県立とかでなく、もっと柔軟に対応できないものなのでしょうか。

(ふるさと協議会)

柏市は県立高校も指定避難所になっているのですが、柏市内の県立高校で避難所運営委員会があるのは柏南高校だけです。市立の小中学校と同じように整備してもらいたいの、機会があれば県に申し入れを行うようにしていただきたいと思います。県も言われないとわからないかもしれません。

(避難所運営委員)

前回も指摘させていただきましたが、避難所の倉庫に新たに備品を入れた際には、学校に連絡していただくと共に倉庫のファイルにある備品一覧に追加した日時と共に備品名を追記していただける旨の回答をいただいたのですが、増尾西小学校の備蓄品倉庫で2026年3月に身体拭きシートが追加になった際には、クリアファイルには追加物品の記載があったものの、学校には業者から何の連絡もなかったとのことでした。市に確認した時も、4月に改定するマニュアルに記載するだけで、追加になった備品の内容を逐次更新する方法がないということでした。地震はいつ起こるかわかりませんので、避難所運営委員会としては、備蓄倉庫に何があるのか現状を認識しておくことが欠かせません。追加した際には学校から連絡をいただけることになっていますので、業者から学校への報告を徹底するようにお願いします。

2点目に、倉庫にソーラーパネル付蓄電池が入っているのですが、充電についてはどのようなになっているのでしょうか。

(防災安全課)

追加備品については、クリアファイルにある一覧に手書きで加えているのですが、日付の記載や教頭先生への報告が徹底できていなかったということで、改善させていただきたいです。ソーラーパネル付蓄電池は各避難所に4台配備されていて、倉庫を見回る職員が充電状況を確認しながら、減っている場合は充電完了している充電器と交換し、持ち帰って充電を行っています。

(避難所運営委員)

女性の生理用品について、かさばるため現在は市の倉庫に入れており、要望があれば避難所の倉庫への移動を検討するということができたが、その後どうなっていますか。

(防災安全課)

現在、倉庫の面積について見直しをしており、現時点では要望に応えられていない状況です。限られた倉庫の面積で何を優先すべきかについて検討させていただきたいです。

(避難所運営委員)

災害で避難所が開設された場合、避難所が必要だと判断して、要望すれば配布されると考えていいですね。

(防災安全課)

要望をいただければ配布させていただきます。今日発表した新たな物資についても、最初から各避難所の倉庫に入れるというよりも、中規模、大規模の倉庫に購入したものを入れておき、各避難所で足りなくなったものについて、要望が来た際に配布するという流れになると思います。

(ふるさと協議会)

学校の避難所に設置している柏市の防災倉庫に置いておく備蓄品を増強しようとしているようですが、倉庫が小さすぎるのではないのでしょうか。ふるさと協議会でも協定を結んで、柏市の倉庫に独自の備品を入れても良いことになっていますが、現実的に、入れるスペースがないように思われます。生理用品についても、ふるさと協議会として7年度の予算で買って用意しているのですが、別の倉庫に置いているという状況ですが、現状をどう考えていますか。

(防災安全課)	防災倉庫のあり方については、避難所の倉庫を含めて検討しており、確かに現在の倉庫は小さいものになっていますが、見直しを図っているところです。
(避難所運営委員)	現状の倉庫で大丈夫なのかということは我々も懸念しており、避難所でプライベートを確保するためのパーティションを新たに導入しようとしても、受け皿としての倉庫にスペースがない状況ですので、ぜひ拡充する方向でご検討いただきたい。
(避難所運営委員)	マンホールトイレについて。土小中学校には一昨年マンホールトイレを設置していただいたのですが、設置直後から体育館の改修が入ってしまい、トイレについての説明が全くないまま終わってしまっています。それと、トイレ用に使う予定だったプールが完全に水を抜いてしまっており、水が使えない状況です。そのあたりのことは、今後どうなる予定でしょうか。
(防災安全課)	マンホールトイレの使い方に関しましては、防災安全課に避難訓練で説明を実施するようにご依頼をいただきましたら、説明させていただきます。マンホールトイレの水源確保に関しては、各小中学校に手押し式の井戸を整備させていただいており、その整備の主な目的としてマンホールトイレの水源の確保を上げさせていただいております。今後、プール設備が減少していく状況は把握しておりますので、手押し式井戸を水源として使っていただくことになります。
(避難所運営委員)	現状で、土小中学校のマンホールトイレの位置は県道側に設置する形になっており、手押しの井戸は職員室の前あたりで離れた位置になるのですが、こういう形でも使用できるものでしょうか。
(防災安全課)	学校によっては、マンホールトイレの水源が近いところと遠いところがあるのが現状です。今後、整備が終わって実際の使用を想定する中で、対応を検討していきたいと考えています。
(避難所運営委員)	現状ではバケツリレーしかないという感じのようですね。
(避難所運営委員)	2年ほど前に、町会に防災用品の配布がありましたが、それは今後もあるのでしょうか。
(防災安全課)	現時点で町会への配布は考えておりません。
(ふるさと協議会)	今度、市民講座で感震ブレーカーの作成を行うのですが、国として感震ブレーカーの普及を推進するような報道があったように思うのですが、柏市では感震ブレーカーの補助金は消防署の管轄で実施していると思います。感震ブレーカーは、個々で入れるのではなく、町会全体という面で推進する必要があると思いますが、今後、防災安全課が窓口になる可能性というのはあるのでしょうか。
(防災安全課)	現時点で、国から感震ブレーカーの設置を推進するという話は来ていないのですが、必要性は認識していますので、今後、協議していく内容になるかと考えています。
(避難所運営委員)	柏市での福祉避難所の概要は決まっているのでしょうか。
(防災安全課)	福祉避難所に関しては、一次避難所に要介護者の方が来た場合に、必要に応じて搬送する場所になるかと思います。
(避難所運営委員)	搬送の必要性は柏市の職員が決めるのでしょうか。
(防災安全課)	その点はまだ具体的に決まっていますが、保健師のように資格を持った方の判断やご自身の希望があった場合に福祉避難所にご案内する形になると思います。
(ふるさと協議会)	福祉避難所は基本的に指定されていますが、受け入れ可能な人数がその時々で変わりますので、場所は公表されていません。通常の避難所で資格者が判断して、自分たちで連れて行っても良いという話はできています。いきなり福祉避難所に行くことはできませんので、一旦、通常の避難所に来た上で移送するという形になります。

【避難所運営委員会の活動の課題点の協議】

(ふるさと協議会)	現状で避難所運営委員会の設置というのは、柏市で何％程度になっているのでしょうか。
(防災安全課)	まだ50％まで行っていないと思います。
(ふるさと協議会)	我々は当たり前のように避難所運営委員会を行っているのですが、柏市にある112箇所の避難所のうち、避難所運営委員会がある避難所は半分ありません。柏市ではふるさと協議会を使って、強力に避難所運営委員会を増やす活動を行っています。ところが、避難所運営委員会の活動資金というのは今のところありません。柏市に対して、4、5年前から補助金を出すことを検討して欲しいと言いつけているのですが、もう少し避難所運営委員会が増えた段階では考えてもらえるのでしょうか。
(防災安全課)	避難所運営委員会については、地域差があることを認識していますので、普及率をあげていくためにどのような方法が適切なのかを課内で検討させていただきたいと考えています。
(ふるさと協議会)	活動するための資金がないということで、各町自治会に負担がいつていると思われま。避難所運営委員会を市の登録団体にすることで補助金の窓口ができるということはあるのですが、防災安全課としてのご検討をよろしくお願いします。

【令和8年度の避難所運営委員会の活動計画】

(増尾西小学校避難所)	6月29日に増尾西小学校で運営委員会を行いました。増尾西小学校では、今年の7月から来年2月にかけて体育館の改修工事を行うため、秋に行っている訓練が出来ないということで、各町会で訓練を行っていただくようお願いしました。ここにお集まりの各避難所の皆さんにお願いですが、来年の2月までに大きな地震が発生した場合には、増尾西小学校を避難所として使えませんが、近隣の小中学校、高等学校に避難をするように案内を行っています。その際は、暖かく迎えていただきますよう、よろしくお願いいたします。また、秋に市の総合訓練があるかもしれないということですので、中原防災公園で実施されるようであれば、増尾地域の町会として訓練に参加することを誘導したいと考えています。
-------------	---

(中原中・小学校避難所)	6月20日に今年の委員会を開催しまして、今年から運営方式を変えています。これまではサンパセオの正木さんに委員長を任せていたのですが、規約で1年交代で委員長を持ち回りにすることを決定しました。今年度の活動ですが、9月12日(土)9時から避難所開設訓練を行う予定です。防災安全課の方と市の避難所担当の3名の方も、ぜひご参加いただきたいと思っております。具体的には、防災倉庫の解錠と備品の運び出し、受付の開設、IP電話の説明、できればテントや簡易ベッドの設営等の訓練を行いたいと思っております。これまで、町会の役員だけで訓練を行っていたのですが、一般の町会会員の方にも周知し、希望者に参加いただける形にしたいと思っておりますが、どの程度の規模になるのかはまだ想定できていない状況です。
(土小学校避難所)	7月25日に避難所運営委員会を開催すると共に、同日、青少協の学校に泊まるというイベントを土小学校で実施します。土小学校は体育館の改修が終わって冷房が効きますので、子どもたちに避難所用テントの組み立てを体験してもらおうと共に、炊き出しを行う予定になっています。
(土中学校避難所)	災害はいつ発生するかわかりませんので、このような場で困ることを想定した話し合いができることを有り難いと思っています。土中の避難所運営委員会では、6月7日に、避難訓練として自治会内の班単位で作った旗の元に集ってもらい、備蓄倉庫の中を確認してもらって鍵を閉めるということを行いました。また、7月5日には東武なかはら団地自治会と増尾町会の一部の方が集まって、避難所開設マニュアルの読み合わせを実施しました。これで新しい方も古い方もマニュアルの内容が頭に入ったかと思います。
(柏南高校避難所)	今日は委員長が欠席ですので、分かる範囲で説明させていただきます。6月21日に委員会を実施し、10月18日に避難訓練を行うことになりました。避難所運営委員会が基本的に素人の集まりであると同時に、対象自治会によって避難訓練に対する認識に差があるため、市の担当者にご参加いただけることがありがたく、安心いたしました。また、避難訓練をどういう形で行うべきか悩んでいますので、総合防災訓練について、参考までに教えていただければ幸いです。
(防災安全課)	今年度の内容に関しましてはまだ詳細が決定していないのですが、令和5年度の実施例としましては、避難所の倉庫にあるグッズを展開して、受付の設置、パーティションやベッドの組み立てなど、避難所開設までの一連の流れを体験するという内容がありました。最近の総合防災訓練の趣旨としましては、市民の方に参加いただきたいということがあり、協定を組んでいる企業の方などをお呼びして、イベントとしての盛り上がりも工夫しています。その他に各種講義や期限切れ間近の備蓄食料の配布で啓発活動を行うなどの内容で実施しています。訓練内容については、防災安全課の地域担当にご相談いただければ一緒に考えさせていただきます。
(ふるさと協議会)	これで意見交換会の予定の内容は終わりになりますが、他に質問等はございますでしょうか。
(避難所運営委員)	災害が起きた時にボランティアの方が来ます。ボランティアの窓口は社会福祉協議会になっていますが、避難所運営委員会とボランティアの関連について検討いただきたいと思っています。また、他の地域から職員の方が応援に来ると思いますが、避難所として、応援職員をどのように受け入れるべきかも全く考えていませんので、具体的なお指導をいただきたい。また、在宅避難を基本としていますが、在宅避難者に対する支援物資の配布方法についても総論があるだけで各論が欠けています。自治会と避難所と行政と在宅避難者の物資のあり方についても勉強させていただきたいと思っておりますので、よろしくお願いいたします。
(ふるさと協議会)	新聞に、避難所で体調悪化で亡くなる人が多いため、今後はDWATを充実させていきたいという内容が出ていました。千葉県でもDWAT要員の育成を行っているようですが、柏市にもそのような連絡は来ているでしょうか。
●DWATとは(千葉県) … https://www.pref.chiba.lg.jp/kenshidou/dwat/documents/chirashi.pdf	
(防災安全課)	防災安全課に県から何らかの通知がきているわけではないのですが、福祉政策課が連絡を取り合っているということはございまして、県から災害時にDWATの派遣について情報の取りまとめ方法等についての照会が来ているということは確認していますので、防災安全課としても随時、整理していきたいと考えています。
(ふるさと協議会)	避難所運営委員会としても、そのような体制の変化にどのように対応するかについても検討をよろしくお願いいたします。